

本日は冬休み前、長期貸出本の返却日です

本格的な寒さの中、新年を迎え、気持ちも新たに学校生活が始まります。3年生の皆さんは進路先が内定した人、これからいよいよ本腰をいれて進路実現に向け邁進する人等様々ですが、不調になりやすいこの時期、どうか体調を崩さないで頑張ってください。1・2年生の皆さんにはリフレッシュできたでしょうか。心身共に充実した状態で新年にのぞんでほしいと思います。

本日**1月19日(月)**は冬休み前、長期貸出本の返却日です。特に3年生のみなさんは、家庭学習期間になりますので、よろしくお願いします。



小寒から大寒へ…

今時期の歳時記について小話をひとつ…。

小寒は1月5日～1月19日頃、大寒は1月20日～2月3日頃(節分)といわれています。今日から明日にかけて、小寒から大寒へと移りゆく時なのです。

小寒は「寒の入り」といわれ、大寒までの約1ヶ月、段々と寒さが増してきます。それでも周りでは小さな春の兆しがみられ、凍りついた地面下でも湧き水が流れだします。そして大寒の期間が、最も寒さが厳しい時期といわれています。

この時期の暮らしのなかの風物詩として、春の七草、鏡開き、どんど焼き、節分、恵方巻きなどがあげられます。

①春の七草…せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろの7種類の野草を1月7日に七草粥にして食べることで、お正月の疲れを癒し、邪気を払い、一年の無病息災を願う風習があります。

②鏡開き…年神様が宿るとされる鏡餅を、刃物を使わずに木槌などで割って食べることで、年神様の力を授かり、1年の無病息災を願う行事です。

③どんど焼き…小正月の時期(1月15日前後)に行われる火祭り行事で、古い正月飾りや書き初めなどを持ち寄って燃やし、無病息災や五穀豊穣を願うものです。お正月飾りを燃やす煙とともに「歳神様」を見送り、残った炎で餅や団子を焼いて食べる一般的です。

④節分…節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日。邪気祓いとして、「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。

⑤恵方巻き…節分に「恵方(縁起が良いとされる方角)」を向いて、願い事をしながら1本丸ごと食べる太巻き寿司です。その年の幸運を願って、黙って食べるのが良いとされています。起源には諸説ありますが、大阪の商人たちの商売繁盛祈願が発祥とする説が有力で、後に海苔業界やコンビニエンスストアなどが普及を後押ししました。

厳しい寒さに負けず、上手く暮らしのなかの風物詩を取り入れながら、からだのリズムを整え、心身共に、健やかな日々を過ごしてください。

司書室のひとりごと

先日新しくなってから初めて、室蘭市図書館えみらんに行きました。

打ち合わせで行ったのですが、図書館のカウンターになんとなく見覚えのある顔が。名札を見て、苗字に記憶があり、尋ねたところ、私の前任校の卒業生だと判明しました。

彼女は図書局員でした。「大学に進学したんだっけ?」と訊いていくと医療事務の専門学校を出て、病院の業務をいくつか経験し、今は図書館に勤務している、ということでした。

社会人生活は長い。思い描いていた進路と現実が合わないこともあります。それでも、その中で自分に合う世界を見つけて社会に出て、自立している卒業生を見ると、頼もしいなと思います。今、高校生のみなさんも、学生生活を送るなかでのちょっとした興味・関心が人生のヒントになるかもしれません。そんな知見を深めるためにも、本を読んでほしいものです。(文責 今)

12月末クラス別利用状況

SNS推し本大賞とは、「本をつなぐプロジェクト」による読者の投稿だけで選ばれる新しい本の大賞。7つの部門のうち、2部門の本は図書室にあるのでぜひ、読んでみてください。

- ①世界の見え方、変わるもの賞 部門 僕には鳥の言葉がわかる/鈴木俊貴/小学館
- ②この気持ちシェアしたいで賞 小説部門 婚活マエストロ/宮島未奈/文藝春秋

クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	41	47	43	36	/ / /	167	204
2年	4	10	0	9		23	
3年	0	0	1	0		1	
職員		/ / /	/ / /	/ / /		13	13